



※より多くの情報を掲載するため、概要は必要最低限にとどめております。情報の詳細は各助成元ホームページなどでご確認ください。

●NHK厚生文化事業団 第21回「わかば基金」/支援金贈呈の部

【申込受付期間】平成21年5月22日(金)必着(郵送のみ)
【助成対象】地域で活発な福祉活動をすすめて、この支援金で、より活動の幅を広げていこうというグループを対象とする。
【助成金額・件数】およそ10グループ。1グループにつき上限70万円。
【応募方法】ホームページから申込書類をダウンロードしてください。
【問い合わせ】社会福祉法人 NHK厚生文化事業団/TEL:03-3476-5955

●丸紅基金 平成21年度(第35回)社会福祉助成金

【申込受付期間】6月30日(火)まで(郵送の場合、6月30日消印のものまで有効)
【助成対象】社会福祉事業を行う民間の団体。(ただし、3年以上の活動実績があり、組織的な活動を行なっている団体)
【助成金額・件数】助成金総額1億円。50件以上(概ね70件程度)の助成。1件当たりの助成金額は原則として200万円。
【応募方法】ホームページから申込書類をダウンロードしてください。
【問い合わせ】社会福祉法人 丸紅基金/電話:03-5446-2474・2475 FAX:03-5446-2476 E-mail:mkikin@marubeni.com

●伊藤忠記念財団 平成21年度子ども文庫助成事業/子どもの本購入費助成

【申込受付期間】6月30日(火)まで(郵送の場合、6月30日消印のものまで有効)
【助成対象】子ども文庫、または子ども文庫連絡会等で、3年以上の活動経験を持つボランティア団体または個人。
【助成金額・件数】1件あたり10万円~30万円の範囲内の希望額。※講習会開催費用や記念誌作成費用は対象としません。
【応募方法】ホームページから申込書類をダウンロードしてください。
【問い合わせ】財団法人 伊藤忠記念財団 助成事業部/TEL:03-3974-2650 FAX:03-3974-2049 E-mail:info@itc-zaidan.or.jp

センターからのお知らせ

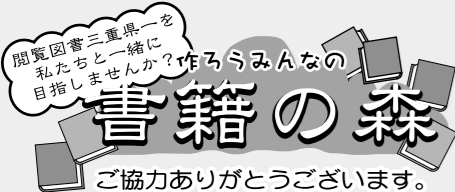


◎ゴールデンウィーク休館のお知らせ

下記の日程で休館日とさせていただきます。
2009年5月3日(日)~6日(水)

◎アンテナ掲示板のガイドラインを改変しました。

気軽に情報の発信や収集ができる「アンテナ掲示板」のガイドラインと専用紙を改変しました。なお、現在掲示されている旧用紙も、無期限のものは継続して掲示されますのでご安心ください。



当センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。

【募集書籍】
ご協力ありがとうございます。
引き続き書籍の寄贈を募集中です。 NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

ちよこつと編集後記

新年度とともに本誌もリニューアルしました。このリニューアルに合わせて、気の長〜い「仕掛け」を施していく予定です。本誌を大切に保管していただければ、来年4月頃には答えがわかるかも知れませんよ。【S】

松阪発信! 市民活動の情報紙 AROMA
次号は2009年6月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「AROMA掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。
次回の原稿締切は2009年5月30日(土)です。 担当/澤

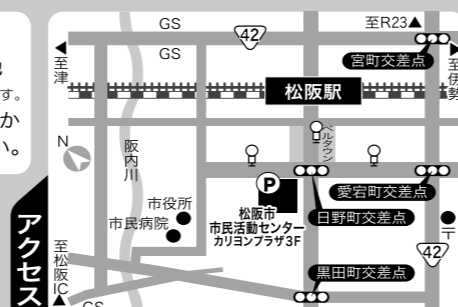
松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

Table with 2 columns: 会議室 (Meeting Room) and 機材等 (Equipment). Lists room types, chair counts, and prices, along with equipment rental details.

松阪市市民活動センターホームページ
http://www.katsudou.com

市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)
http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/



アクセス

AROMA
A Resident Of Matsusaka Activity

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜~土曜日/10:00~22:00
TEL 0598-25-3801 (予約専用) 0598-26-0108
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

~アロマ~ No.22



今号は 要約筆記サークルOASIS さんです。

春の風が心地よい4月某日、今号の取材先「要約筆記サークルOASIS」さんにお話を伺うため、松阪のボランティアセンターを訪れた。要約筆記とは聞こえに不安を感じる人に対し、話しの内容(場合によっては笑い声やチャイムなども含む)を要約し、文字にしてリアルタイムに伝えることをいう。聴覚に障がいを持つ人全てが手話を理解できるとは限らない。何らかの事故や病気などで聴力を失った中途失聴者や、難聴者の中には手話では完全にコミュニケーションがとれない人も少なくないからだ。こうした人達にとって要約筆記は、大切なコミュニケーションツールなのだ。OASISの活動は準備期間を含めると10年になる。現在はパソコンを使った要約筆記にも力を入れており、当センターのリユースPC寄贈プログラムを活用して活動機材の充実も図っている。このPCを使った勉強会にお邪魔させていただいたのだが、取材でのやり取りがわかりやすく要約され、即座にプロジェクターで投影される様には感動すら覚えた。



OASIS代表の大家さん。これが寄贈されたリユースPCです。

OASISメンバーの勉強会の他に、別室では松阪の難聴者サークル「すてきなステーキ」の例会が行なわれていた。ここではOASISのメンバーはパソコンではなくOHP(※1)を使い例会をサポートしていた。例会の休憩時間に特別に同席させていただき、すてきなステーキの代表、池村さんにもお話を伺うことができた。「私が聴覚障がいになった頃は大変落ち込みました。ですがOASISの方たちと知り合ったことで、今のように明るくなれたんです」と池村さんは笑顔で語る。当然、池村さんと私の会話の内容はOASISメンバーによってリアルタイムに伝えられる。うなずくタイミングも笑いの起こるタイミングにもほとんどズレはなくスムーズ



※1OHPはオーバーヘッドプロジェクターの略です。OHPを囲み交代しながら要約筆記が進められます。強い光源を長時間眺めるため、専用の偏光グラスで目を保護しています。

だ。「話す言葉を聞きとり、要約し、文字に置き換え伝えることは大変な作業では?」とOASISの代表、大家美代子(おおやみよこ)さんに訪ねたところ「個人差はあるが講習を受けて経験を積みば大丈夫」ということだった。ボランティアを志す人にとっては選択肢の広がる心強い言葉だ。

大家さん達メンバーは現在、障害者自立支援法の中のコミュニケーション支援事業により、県や市の仲介を経て派遣される。「昔に比べると小回りはきにくくなったが、有償ボランティアとして確立され、行政と対等に話ができるようになった」と大家さんはいう。また、有償だからといって決して事務的ではないのもOASISの特徴の一つだろう。「この活動をしていて嬉しいのは、正確に情報を伝えた相手からの感謝の言葉です。あと、知り合った人達との交流も楽しみの一つなんです」という大家さんの言葉からは、暖かみのあるボランティア精神が伺える。要約筆記の認知度を上げ、少しでも要約筆記奉仕者の人数を増やしたい、そして次の世代の育成も含め「地元松阪のことは松阪の団体で行なえるようにしていきたい」というのが大家さんの想いだ。この想いを形にするため、日々努力を惜しまないOASISの活動に今後も注目したい。



マイクを握るのが「すてきなステーキ」の代表池村さん。和やかな雰囲気が印象的だった勉強会の様子。

## 【事業告知】家族やメンバー、来場者が倒れた時、あなたならどうしますか? 「緊急時の救命講習」を実施します。

けがや病気は、いつ、どこで起こるかわかりません。当センターでは、こうした不測の事態に備え、松阪地区広域消防組合消防本部 消防課の講習担当者を招き、「緊急時の救命講習」を実施します。主な講習内容は「心肺蘇生法」、「AED(※1)の取り扱い方法」などです。いざというとき、救急隊が駆けつける前のわずかな時間に、適切な応急手当を施すことができれば生存確率は格段に上昇します。逆に、間違った対処法は命を危険にさらしてしまう可能性もあります。正確な知識と技能を身につけるためにも、是非この機会に講習にご参加ください。なお、定員は受付先着30名程度を予定しています。お早めにお申し込みください。

(※1) AED…Automated External Defibrillator の略語で、日本語では「自動体外式除細動器」という。心臓の筋肉のけいれんを電気ショックを与えることにより正しいリズムに戻し、蘇生するための治療機器。



**日時** 平成21年**5月19日(火) 13:30~15:30**(受付13:00~)

**場所** **松阪市市民活動センター 大会議室**

**対象** **センター登録団体** ※1団体につき3名様まで受付可能。

**参加費用** **無料**

**定員** **受付先着30名程度**

**申込締切** **5月9日(土)** ※定員になり次第受付を終了します。

**申込方法** **メールまたは、お電話にてお申込ください。**

### 【メールの場合】

件名を「救命講習申込」とし、登録No、団体名、参加者のお名前(複数人申込の場合は参加希望者すべてのお名前)、講習当日連絡のとれるお電話番号(複数人の場合は代表者のお電話番号だけで結構です)を明記のうえ、下記のメールアドレスまで送信ください。

**katsudou@ma.mctv.ne.jp**

### 【お電話の場合】

メールと同様の内容をお電話でお伝えください。

**0598-26-0108** (担当:澤)

## 【事業告知】つながる ひろがる 市民活動の輪 登録団体交流会 開催のお知らせ

当センターにご登録いただいている団体さんをお招きして、交流を深めてもらうためのイベント「登録団体交流会」を今年も開催しますよあ〜! 市民活動をキーワードに、自分達の活動をPRする場として、情報交換の場として、他団体とのコラボレーション企画のきっかけとして、是非この交流会をご活用ください。ここでしか聞けない貴重な情報にも巡り会えるかも知れませんよ。

毎年この交流会を楽しみにしている団体さんも、今年が初めてという団体さんも、お越しいただく皆さんに楽しんでもらえるようなイベントにしたいと考えております。センタースタッフ一同、皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

**日時**：平成21年6月3日(水) 午後7時~  
**場所**：松阪市市民活動センター 大会議室  
**参加費**：無 料  
**申込方法**：専用紙にご記入の上、FAXにてお申込ください。お電話、メールでも受け付けます。

## 21年度 センター運営委員の皆様をご紹介します。

(登録番号順) .....

NPO法人大正浪漫一座	越知愛幸子さん
松阪市商店街連合会	宮村 元之さん
嬉野生活ネットピア	鈴木 博さん
三重県理容組合松阪支部	野呂 一男さん
松阪木鶏クラブ	西山 定さん
そよかぜ会	角 喜久子さん
伊勢平氏研究会	倉田 正義さん
朝見まちづくり協議会	鈴木三千夫さん
三重県郷土資料刊行会	池田たえ子さん
映像CUBE	中村 智宏さん
まつさか現代レイキの会	中嶋 正幸さん
なごみの会	和田 久代さん
松阪市総合政策部まちづくり推進課課長	大山 睦夫さん

.....

委員の皆様にはセンター運営に関する重要事項(※1)の承認やアドバイスをいただきます。1年間よろしく願いいたします。

### ※1 センターの運営に関する重要事項って?

- ① 利用料金
- ② 開館時間
- ③ 休館日
- ④ 団体の登録及び取消し等

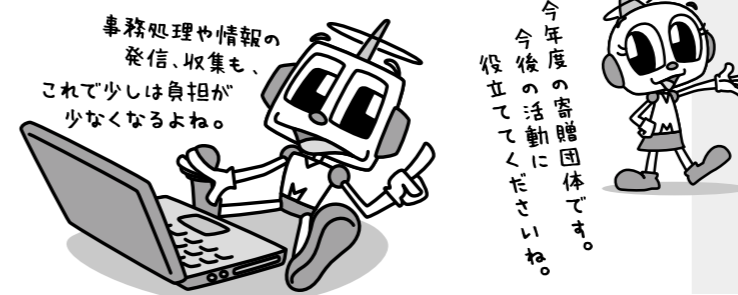
## 【事業報告】リユースパソコン寄贈プログラム/寄贈式開催

いせ・松阪・伊賀・津 イーパーツリユースパソコン寄贈プログラムの寄贈式及び交流イベントが、3月28日(土)に松阪市市民活動センターを含む4箇所の市民活動(支援)センターで同時開催されました。

例年同様、申請団体に対して、PC有効利用度及び活動公益性の視点から厳正な選考が行われ、松阪地区では合計15台のリユースPCが寄贈されました。交流イベントでは、「リユースPCデジタル紙芝居」、UDうれしのさんによる「バリアフリーに関するお話」、PCを再生、発送した「成人自閉症施設はどの郷の紹介」、寄贈団体による「2分間スピーチ」という流れのなか、「バリアフリー」をキーワードに進んでいきました。

寄贈団体の中には既にブログやSNS(※1)などで活発に団体内の意見交換をされているところもあります。今回の交流イベントに留まらず、インターネット上でも団体間の新たな交流が始まることを期待しています。

(※1) SNS…Social Networking Serviceの略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイトの総称。



### 【寄贈団体】(登録番号順)

- ・松阪視覚障害者協会
- ・まつさかチャレンジドプレイス 希望の園
- ・チャレンジスクール三重
- ・松阪市放課後児童クラブ(学童保育)連絡協議会
- ・要約筆記サークル OASIS
- ・UDうれしの
- ・森のグルッペ
- ・障害当事者NPOセンター コンビニハウス
- ・第五ときわっ子

## まつさか地域情報化フォーラムに参加しました。



団体の活動を広げるためにも、仲間を集めるためにも「伝える力」は大切です。しかも「上手に伝えたい、わかりやすく伝えたい」となると意外に難しいものですね。

去る2月21日(土)、松阪産業振興センターで開催された松阪市主催の「まつさか地域情報化フォーラム」に参加しました。地域SNS(※1)と紙芝居を取り上げ、伝えることの今昔を見ることの出来る催しでした。

当センターは「創作紙芝居の発表」と「パネルディスカッション」に関わりました。創作紙芝居では、地域貢献活動などにも力を入れているマックスパリュ中部さんをお誘いしたところ、快く協力してくださいました。ありがとうございました! パネルディスカッション「伝える・響く・情報発信」では、三重大学の山守一徳教授の進行により、インフォミー(株)和崎宏さん、紙芝居パフォーマーの小暮都さん、山中光茂市長とともに、当センターからは米山がパネリストとして参加しました。

市民活動団体が持つ資金不足や人材不足などのお悩みも、広報力を強化することで解消できるかもしれません。伝える力でさらに活発になっていただけたら嬉しいですね。



(※1) 地域SNS…全国規模のSNSに対し、より地域に密着したSNSを地域SNSという。松阪にも無料登録可能な地域SNS「松阪ベルネット」があります。